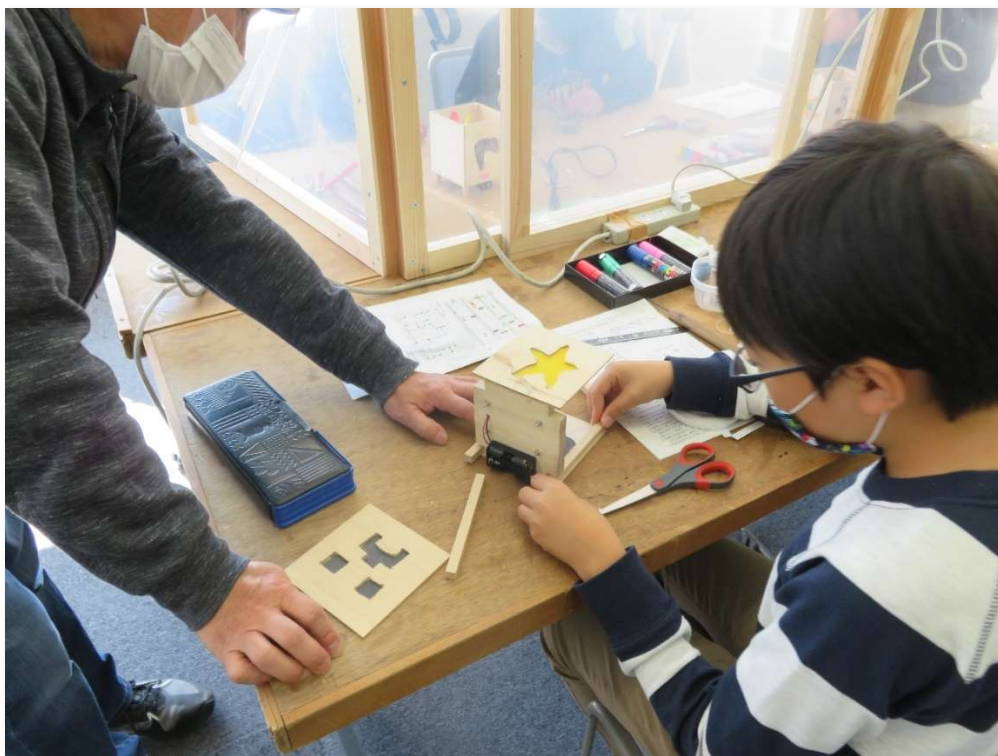


令和3年度
予算(案)のポイント

「働くまち」から
「働いて暮らすまち」へ



湖西少年少女発明クラブ 活動の様子



令和3年2月
湖西市

1. 予算編成の基本姿勢と概要

新型コロナウイルス感染症の及ぼす影響はあらゆる分野に広がり、自治体を取り巻く環境は全国的に厳しい状況にあります。湖西市は引き続き、持続可能な発展のために住み続けたいまちづくりを目指し、

『職住近接』をキーワードに掲げ、

1. 安全・安心、医療福祉
2. 子育て・教育の充実
3. 産業の振興 ～モノづくりは人づくり～
4. 観光・シティプロモーション

を4本の柱として、将来のために真に必要な施策を着実に推進します。

また、税収が大幅に減少する厳しい財政状況の中、短期的な視点だけでなく中長期的な視点を持って財源確保に取り組み、持続可能な行財政基盤を構築していきます。

一般会計 R3 : 216.2 億円 R2 : 217.1 億円

(▲0.9 億円・▲0.4%)

予算総額 R3 : 404.3 億円 R2 : 402.6 億円 (+1.7 億円・+0.4%)



本市は、企業活動が活発で地域の稼ぐ力は強いものの、市外からの通勤者が多く、市外への所得流出が大きい構造となっていますので、昼夜間人口の差の解消を目指し、移住・定住の促進を継続して重点的に行っています。

〈〈参考〉〉 将来を見据えた財源確保

○限られた財源を有効活用

残高を意識した財政調整基金の繰り入れ

繰入額 : R2 : 当初 7.1 億円 → R3 : 12.0 億円 (+4.9 億円)

残高見込 : R1 末 : 32.1 億円 → R2 末 : 36.4 億円 → R3 末 : 29.4 億円

○市債(借金)の活用と抑制

短期的な資金確保のための活用と将来の大型建設事業を見据えた抑制

発行予定 : R2 : 当初 13.3 億円 (最終 19.8 億円) → R3 : 10.5 億円 (▲2.8 億円)

残高見込 : R2 末 : 173.8 億円 → R3 末 : 172.8 億円 (▲1.0 億円)

目玉事業



新型コロナウイルス対応

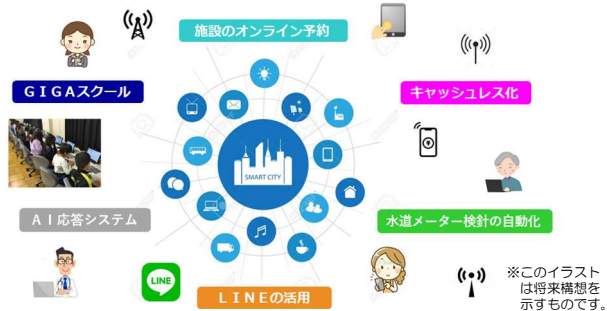
1億6,691万円

新型コロナウイルス感染症の早期収束を目指し、16歳以上の全市民を対象にワクチン接種を実施します。また、感染疑いの症状がある方を対象にPCR検査を実施し、感染の拡大を防ぎます。

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

1億6,735万円

市税等の支払いのキャッシュレス化や、水道スマートメーターの導入、公共施設予約システムの導入、LINEアカウント機能の拡充など、様々な分野でのデジタルトランスフォーメーション(DX)施策を推進し、市民サービスの利便性の向上を目指します。



空き店舗などを活用した創業の支援

200万円

市内における賑わいの創出・商業の活性化を目的に、空き店舗や空き家を利活用し、新たなビジネスの創業や、新規出店等を行う事業者を対象に、補助を実施します。

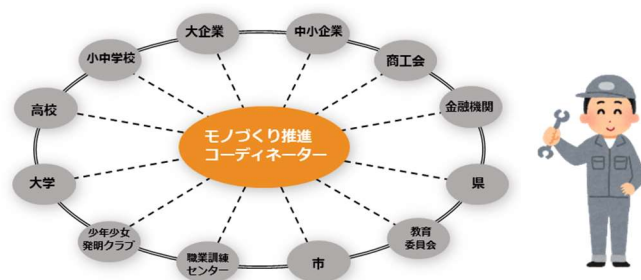


モノづくり人材の育成と産業の発展

105万円

モノづくりのまち・湖西市の産業を持続的に発展させていくため、地元企業や学校、発明クラブ、地域、行政などが一体となった「モノづくり産業ネットワーク」を構築することで、モノづくりを通じた人づくりと、モノづくり企業との連携を積極的に推進していきます。

湖西市モノづくり産業ネットワーク(イメージ)



新居弁天地区の観光利活用

860万円

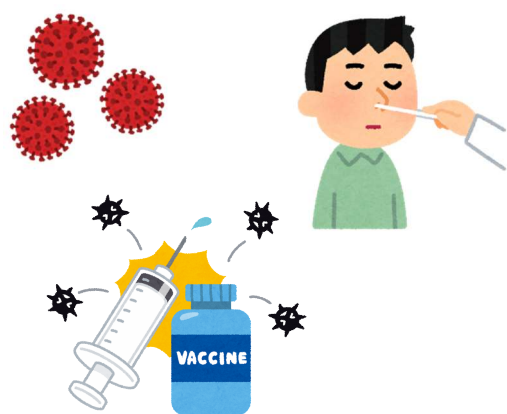
新居弁天地区を、民間企業の力を取り入れることで、年間を通じて賑わいが生まれるような観光スポットとして利活用し、市の観光ブランド力の強化に繋げ、浜名湖地域における観光拠点化を目指します。



令和3年度に取り組む『職住近接』への4本の柱

①安全・安心、医療福祉

項目	主な内容	予算額	所管
1 新型コロナウイルス対応	<p>新型コロナウイルス感染症の早期収束を目指し、16歳以上の全市民を対象にワクチン接種を実施します。</p> <p>また、感染疑いの症状がある方を対象にPCR検査を実施し、感染の拡大を防ぎます。</p>	<p>(R3年度当初分) 1億5,367万円</p> <p>(R2年度補正分) 1,324万円</p>	健康増進課
2 災害対応力の強化	<p>大規模地震による津波への対策として、海釣公園防潮堤の整備を進めます。</p> <p>また、災害時の避難所用として、段ボールベッドを購入します。パーティションと組み合わせることで、新型コロナウイルス感染症対策に非常に有効となります。</p>	1,149万円	危機管理課
3 歩行者の安全対策	<p>歩行者などが安心して通行できるための歩道整備や、ドライバーに注意を促すための区画線設置、幅の狭い踏切の改良など、主に歩行者の交通事故防止につながる対策を行います。</p>	9,040万円	土木管理課 土木建設課



鷲津踏切の改良

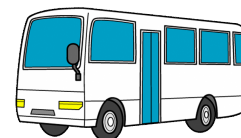


段ボールベッドの購入

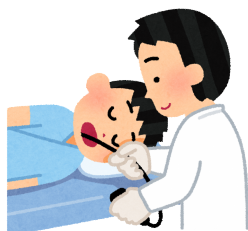


項目	主な内容	予算額	所管
4 湖西市 BaaS 事業	市内企業が運行するシャトルバスに市民も乗車する「湖西市 BaaS 事業」について、路線や時刻表、便数などを改善し、実装に向けた実証実験を継続して行います。 また、バス利用者を対象とした買い物等に使えるクーポン券発行などを行い、地域経済への影響を分析します。	1,000 万円	産業振興課
5 畜産臭気への対策	畜舎等の密閉化や脱臭装置の設置、消臭飼料の購入等の臭気対策事業に対して、補助を行います。	330 万円	産業振興課
6 胃がん内視鏡検査(選択制)の導入	胃がん検診において、検査方法としてエックス線、内視鏡を選択できる方式を導入します。	967 万円	健康増進課
7 多文化共生の推進	外国人住民の相談等に対し、タブレット端末を利用した遠隔の通訳オペレーターによる多言語ビデオ通訳サービスを導入します。	64 万円	市民課

湖西市企業シャトルBaaS乗車の仕組み



畜産臭気への対策



②子育て・教育の充実

項目	主な内容	予算額	所管
1	GIGA スクール構想の推進 1人1台のタブレット端末を活用し、新しい生活様式に対応した授業を目指すとともに、ICT教育を推進します。	4,690万円	教育総務課 学校教育課
2	学校教育環境の整備 学校の外壁や屋根の改修、防水工事、トイレの洋式化などを順次行います。 肢体不自由な児童のための特別支援学級を新設します。	5,233万円 (R2年度補正分) 634万円	教育総務課
3	新たな民間保育園の新設に向けて 令和4年4月の民間保育園2園の新設に向けた支援を行います。	4億773万円	幼児教育課
4	放課後児童クラブの充実 放課後児童クラブの充実のため、令和3年度に鷲津小学校区において1単位増設します。	3,600万円	子育て支援課



ICT教育の推進



新居小学校体育館屋上外壁改修事業



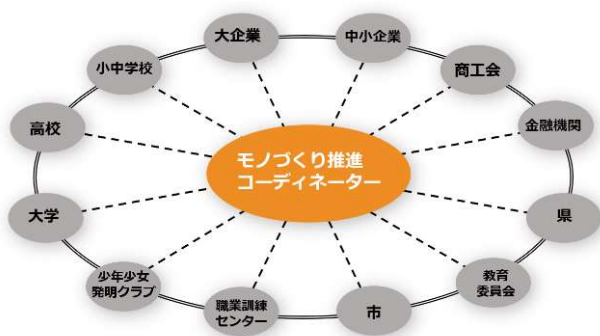
新設民間保育園への補助



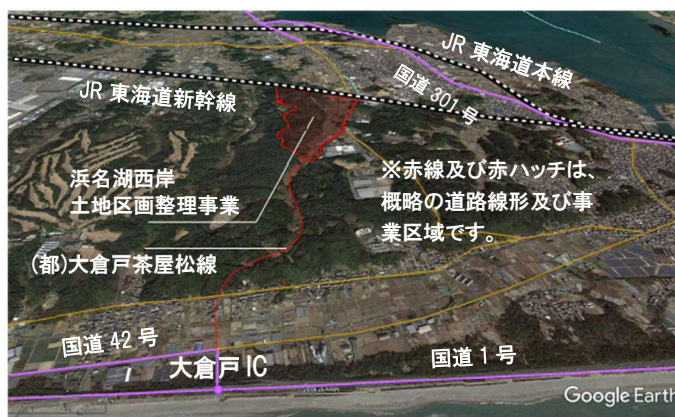
③ 産業の振興 ～モノづくりは人づくり～

項目	主な内容	予算額	所管
1	モノづくり人材の育成と産業の発展	105 万円	産業振興課
2	空き店舗などを活用した創業の支援	200 万円	産業振興課
3	鳥獣被害対策 (豚熱対策)	263 万円	産業振興課
4	浜名湖西岸土地地区画整理事業 大倉戸茶屋松線整備事業	7 億 6,311 万円	都市計画課 土木建設課
5	企業立地の促進	606 万円	都市計画課

湖西市モノづくり産業ネットワーク(イメージ)



浜名湖西岸土地地区画整理事業・大倉戸茶屋松線整備事業



空き店舗や空き家の活用



④ 観光・シティプロモーション

項目	主な内容	予算額	所管
1	移住定住施策のさらなる推進	5,467 万円	企画政策課
2	LINE アカウント機能の拡充	185 万円	観光交流課
3	新居弁天地区の観光利活用	860 万円	観光交流課
4	市制 50 周年記念事業に向けて	144 万円	企画政策課

移住定住促進事業



ニーズに沿った LINE 配信



新居弁天地区の観光利活用



参考資料

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 事業費の内訳

No.	項目	内容	開始予定時期	予算額
1	キャッシュレス決済の導入	(税等の納付書) 市税、国民健康保険税、市営住宅使用料、上下水道使用料について、各納付書のコンビニ収納用バーコードをスマホアプリで読み込んで納付するキャッシュレス決済を導入します。	R3.4	392 万円
		(窓口手数料) 各種証明書等の支払いに、電子マネーやバーコードによるキャッシュレス決済を導入することで、DXの推進と市民サービスの向上を図ります。	R3.8	
2	公共施設予約システムの導入	公共施設予約システムの導入を行います。令和3年度においては、体育施設を対象とします。	R4.1	791 万円
3	水道スマートメーターの導入	入出・知波田配水区域への水道スマートメーターを設置することで、漏水の早期発見等を可能にします。また、得られるデータを使い、今後設置する水道管の太さの検討や水質管理に役立てるための研究を進めます。	R3.7頃	9,613 万円
4	多文化共生の推進	外国人住民の相談等に対し、タブレット端末を利用した遠隔の通訳オペレーターによる多言語ビデオ通訳サービスを導入します。	R3.8	64 万円
5	LINEアカウント機能の拡充	市公式LINEに登録者ごと受け取る情報を選択できる機能を追加し、広報媒体として活用することで、市民が災害情報や子育て情報といったニーズに合わせた情報をタイムリーに受け取ることができるようにします。 また、新たに検索機能を追加し、市のウェブサイトなどへ誘導することで市民の情報の入手手段を増やします。	R3.7	185 万円
6	GIGAスクール構想の推進	1人1台のタブレット端末を活用し、新しい生活様式に対応した授業を目指すとともに、ICT教育を推進します。	R3.5	4,690 万円
7	湖西市BaaS事業	市内企業が運行するシャトルバスに市民も乗車する「湖西市BaaS事業」について、路線や時刻表、便数などを改善し、実装に向けた実証実験を継続して行います。 また、バス利用者を対象とした買い物等に使えるクーポン券発行などを行い、地域経済への影響を分析します。	継続	1,000 万円
合 計				1億6,735万円

市民の暮らしを支え、利便性を向上させるため、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進

DX…進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること



※このイラストは将来構想を示すものです。